

■280MHz z 防災ラジオ整備事業

平成 27 年 9 月に発生した関東・東北豪雨災害、昨年 8 月の台風 10 号による岩手・青森での災害、今年 6 月の九州北部の災害など、昨今の水害や土砂災害においては、避難勧告や防災気象情報等が住民に十分に伝達できていないなどの課題が浮き彫りとなり、迅速かつ確実な情報伝達体制及び手段の整備が求められています。

本市における災害時等の情報伝達手段としては、屋外拡声子局及び戸別受信機を用いた同報系防災行政無線と、携帯または車載無線機を用いた移動系防災行政無線の二種類ありますが、旧町ごとのシステム運用となっていること、同報系無線が整備されていない地域があるため全市一斉放送ができないなどのほか、設備の老朽化とともに、現在利用している電波（アナログ波）が平成 34 年で終了する見込みとなっていることから、新たな情報伝達手段の整備が必要となっています。

こうしたことから、市では、風水害が発生している中でも市内全域に一斉の情報伝達を可能とすることを基本に、最新のデジタル方式による同報系無線及び通信技術を用いた 280MHz 防災ラジオ整備事業を進めることといたしました。

この事業は、新たに情報を発信する基地局及び配信局を整備し、各家庭や公共施設等へ配布される戸別受信機（防災ラジオ）により、災害時の避難に関する情報のほか、国からの有事関連情報、緊急地震速報などの情報のほか、平時における市民への情報提供も可能とするシステムとして整備を図るものです。

現在は、森吉山の基地局と市庁舎等の配信局の整備に着手しており、来年 4 月から運用ができるよう進めておりますが、戸別受信機（防災ラジオ）については、来年 3 月を目途に、自治会長、民生委員児童委員、消防団、要配慮者施設、公共施設等へ配付し電波状況や使用状況などを確認しつつ、平成 30 年度、31 年度で各家庭へ戸別受信機を配布する計画としております。

<システム概念図>

